

PA チャンネル「STILL ALIVE-キュレーションコンセプトと見どころ解説」

<登壇者の略歴>

藤井 明子 Fujii Akiko

愛知県芸術劇場プロデューサー

1992年より愛知県文化情報センター学芸員（音楽）、現在は、愛知県芸術劇場チーフプロデューサー兼企画制作部長。野村誠『プールの音楽会』（2010年）、小杉武久『MUSIC EXPANDED #1、#2』（2016年）、三輪真弘＋前田真二郎モノログ・オペラ『新しい時代』再演（2017年）ほか、現代音楽、民族音楽、ジャンルにとらわれないミュージシャンや作曲家に焦点を当てたコンサートや映像、ダンスとのコラボレーション公演の企画・制作を行う。あいちトリエンナーレ 2010、2013、2016 パフォーミングアーツ・プロデューサー、キュレーターを務めた。



前田 圭蔵 Maeda Keizo

アートプロデューサー

多摩美術大学芸術学科卒。世田谷美術館学芸課に勤務後、株式会社カンバセーション&カムパニーで、音楽やパフォーミングアーツの企画制作や、レコード・レーベル運営等を手掛ける。また、2001年より、ウェブサイト・マガジン『realtokyo』の編集／運営に携わる。2005年に愛知県で開催された日本国際博覧会では、複数の国際プロジェクトを担当。フェスティバル/トーキョー2011制作アドバイザー、あいちトリエンナーレ 2013 パフォーミングアーツ部門プロデューサー、六本木アートナイト 2014 プログラムディレクターなどを歴任。また、2012年以降は、公益財団法人東京都歴史文化財団東京芸術劇場のスタッフとして、国内外のパフォーミングアーツの企画制作等に携わっている。



Photo:
Ryuji Miyamoto

相馬 千秋 Soma Chiaki

アートプロデューサー／NPO 法人芸術公社代表理事

岩手県生まれ。NPO 法人芸術公社代表理事・アートプロデューサー（2014年-）。フェスティバル / トーキョー初代プログラム・ディレクター（2009-2013年）、あいちトリエンナーレ 2019 キュレーター、シアター commons 実行委員長兼ディレクター（2017年-）など、演劇、現代美術、社会関与型アート、VR/AR テクノロジーを用いたメディアアートなど、領域横断的な同時代芸術のキュレーション、プロデュースを多数手がける。2015年フランス共和国芸術文化勲章シュヴァリエ受章、2021年芸術選奨（芸術振興部門・新人賞）受賞。2021年より東京藝術大学大学院美術研究科准教授、ドイツで開催される世界演劇祭テアター・デア・ヴェルト 2023 プログラム・ディレクター。



Photo:
Yurika Kawano